

# 2021年度 社会系教科教育学会 (ESSDRA)

Education in the Social Studies Department Reseach Association



## 第33回 研究発表大会プログラム

日 程 2022年2月19日(土) シンポジウム、理事会・総会  
(オンライン同期型)

2022年2月19日(土)～3月18日(土) 自由研究発表  
(オンライン掲載型)

主 催 社会系教科教育学会

後 援 国立大学法人 兵庫教育大学  
兵庫県教育委員会  
神戸市教育委員会  
加東市教育委員会

2022年1月26日

会員の皆様へ

社会系教科教育学会長 關 浩和  
研究発表大会実行委員長 吉水 裕也

## 2021年度 社会系教科教育学会 第33回研究発表大会

厳寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、2021年度第33回社会系教科教育学会研究発表大会をオンラインで開催することとなりました。会員の皆様方はもとより、会員以外の方々にも広くお呼びかけいただきまして、多数ご参加くださいますよう、ご案内かたがたお願い申し上げます。

つきましては、社会科教育及び地理歴史科・公民科教育、生活科教育、総合的な学習の時間等に関心を持っていらっしゃるの方々をお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

### I 研究大会概要

#### 1 日程

2022年2月19日（土） シンポジウム、理事会・総会（オンライン同期型）

11:00	12:00	13:00	15:30	15:40	16:10
	理事会		シンポジウム		総会

2022年2月19日（土）～3月18日（土） 自由研究発表（オンライン掲載型）

2 主催  社会系教科教育学会

3 後援 国立大学法人 兵庫教育大学  
兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会・加東市教育委員会

4 大会参加費 1,000円（事前振込）

オンライン同期型シンポジウムへの参加や、オンライン掲載型自由研究発表資料の閲覧を希望される方も、この参加費が必要です。

今回はオンライン開催です。全国どこからでも参加できます。ぜひ参加費をお振り込みいただき、多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。

大会参加申込の締切日 2022年2月10日（木）

参加費振込の締切日 2022年2月10日（木）

学会webサイト URL <https://essdra.sakura.ne.jp>

5 参加費振込口座（郵便局）

- ・口座名称： 社会系教科教育学会
- ・郵便振替口座記号番号： 01110-6-13385

振込用紙の通信欄に大会参加費とお書きください。年会費等をあわせてお支払いの際も、通信欄に内訳がわかるように必ずお書きください。

振込後に参加をキャンセルされた場合の返金はありません。あらかじめご了承ください。

6 問い合わせ先

〒673-1494 加東市下久米942-1 兵庫教育大学内

社会系教科教育学会 第32回研究発表大会事務局 吉水 裕也

e-mail: [yosimizu@hyogo-u.ac.jp](mailto:yosimizu@hyogo-u.ac.jp)

2月19日(土)

社会系教科教育学会・理事会 (11:00 - 12:00 オンライン同期型)

シンポジウム (13:00 - 15:30 オンライン同期型)

### シンポジウムテーマ

#### 高等学校科目再編をふまえ小・中学校社会系教科のあり方を見直す

2018年の高等学校学習指導要領改訂によって、高等学校地理歴史科と公民科の科目編成は大きく変わった。地理歴史科においてはこれまでの世界史、日本史、地理を柱とする編成から、総合科目と探究科目を中心とする編成に変わり、必修科目として「地理総合」、「歴史総合」が、選択科目として、「世界史探究」、「日本史探究」、「地理探究」が新設された。また、公民科においては、「現代社会」が廃止され、新しく必修科目として「公共」が設置されることになり、「公共」、「倫理」、「政治・経済」という編成となった。このような科目再編の背景には、育成すべき資質・能力の明確化と、それに伴う主体的・対話的で深い学びを実現するという意図がある。すなわち、従来、どうしても学問の成果としての知識の教授に偏りがちであった高等学校の社会系教科の学習を、生徒が自ら課題を発見し、それを主体的に探究し、解決することを通して、思考力や判断力を身に付けるものへと変革する必要があったのである。そのため、教科名にも、総合と探究という学び方を象徴する言葉が入った。このような高等学校における科目再編は、当然、高等学校だけの問題ではなく、小・中学校の社会科のあり方にも影響を与えるだろう。高等学校でのより質の高い探究を促すためには、小・中学校では、どのような探究を展開すべきなのだろうか。

コーディネーター

岡山大学 桑原 敏典  
千葉大学 阪上 弘彬

社会の仕組みや背景を考える小学校社会科学習

—第5学年「作物の産地廃棄」及び第6学年「鎌倉幕府の滅亡」を事例に—

徳島市立助任小学校 佐藤 章浩

問い直しに着目した中学校社会科授業

—自ら課題を設定できる生徒の育成をめざして—

三田市立上野台中学校 王子 明紀

高校地歴科「日本史探究」の授業実践に向けて

—これまでの教材研究の成果を活かすには—

広島大学附属中・高等学校 栗谷 好子

小・中・高の社会系教科における統合性と一貫性

—具体と抽象の往還を基盤とする資質・能力育成—

岡山大学 山田 秀和

指定討論者

鳴門教育大学 梅津 正美  
三重大学 石川 照子

2月19日～3月18日

---

自由研究発表 (2月19日～3月18日 オンライン掲載型)

---

【第1分科会】初等社会科教育

- (1) 責任概念の多義性を学ぶ概念カテゴリー化学習  
—グローバル社会や多文化共生社会の進展を見据え—  
長崎大学 新谷 和幸
- (2) 価値認識形成を促す小学校歴史学習の授業開発  
—第6学年「戦国の世から天下統一へ」における社会認識形成を事例として—  
大阪市立野田小学校 石元 周作
- (3) アクション・リサーチによる小学校社会科授業の開発研究(Ⅷ)  
—ICT活用を視点にした第4学年単元「焼き物をつくるまち・丹波篠山市」の場合—  
兵庫教育大学 關 浩和  
兵庫教育大学大学院 南波 真帆
- (4) 未来をデザインする資質・能力形成のための社会科授業開発(Ⅱ)  
—第5学年単元「情報を生かして発展する産業」の場合—  
兵庫教育大学 關 浩和  
兵庫教育大学 山内 敏男  
兵庫教育大学 福田 喜彦  
千葉大学 阪上 弘彬  
京丹後市立網野北小学校 東宇 孝浩
- (5) グローバル化した都市空間の認識形成をめざす小学校社会科学習の授業実践とその評価  
—第6学年「東京オリンピック・パラリンピック2020と私たち」の場合—  
武蔵野大学 佐藤 克士  
学習院初等科 大矢 幸久
- (6) 持続可能な社会の形成者育成をめざす小学校社会科水産業学習の授業開発  
—第5年単元「どうする?日本の水産業」—  
武蔵野大学 佐藤 克士  
武蔵野大学教育学部 大野 恵
- (7) 中華人民共和国の初等教育における自然災害に関する学習内容の分析(2)  
—義務教育小学「品德と社会(生活)」課程標準及び準拠版教科書を事例として—  
武蔵野大学大学院 王 禹軻  
武蔵野大学 佐藤 克士
- (8) 学校・家庭・地域が協働して取り組む持続可能な社会に関する授業実践  
—総合的な学習の時間の活用と教科担任制の検証—  
泉南郡岬町立深日小学校 岡田 良平  
泉南郡岬町立深日小学校 長根わかば

- (9) 小学校社会科におけるメタ・ヒストリー学習の重点課題  
—中高学年を通しての段階的展開—
- |  |               |       |
|--|---------------|-------|
|  | 山梨大学          | 服部 一秀 |
|  | 山梨大学教育学部附属小学校 | 神戸 博貴 |
|  | 上野原市立上野原西小学校  | 佐藤 貴史 |
|  | 山梨大学教育学部附属小学校 | 菊島 咲  |
- (10) ICT機器の活用による社会に開かれた教育課程の実現を目指す社会科授業開発  
—第4学年『地域で受けつがれてきたもの』を事例として—
- |  |           |       |
|--|-----------|-------|
|  | 霧島市立国分小学校 | 福田 弥彦 |
|--|-----------|-------|
- (11) 経済概念の獲得・活用を意図した小学校社会科カリキュラムの構想と実践  
—第3学年「お店ではたらく人～お店フシギ発見!! 人を集めるお店の工夫～」の実践をもとに—
- |  |           |       |
|--|-----------|-------|
|  | 兵庫教育大学大学院 | 筒井 幸介 |
|--|-----------|-------|
- (12) 「提案する社会科」と小学校歴史単元
- |  |           |       |
|--|-----------|-------|
|  | 香美市立山田小学校 | 茂松 清志 |
|--|-----------|-------|
- (13) 協同的探究学習を活用した小学校社会科授業開発研究
- |  |           |       |
|--|-----------|-------|
|  | 兵庫教育大学大学院 | 有馬 大貴 |
|--|-----------|-------|
- (14) 協働的問題解決による小学校社会科授業開発(Ⅱ)  
—第3学年単元「コンビニから見える社会」の場合—
- |  |             |       |
|--|-------------|-------|
|  | 兵庫教育大学附属小学校 | 末永 琢也 |
|  | 兵庫教育大学      | 關 浩和  |
- (15) 小学校社会科におけるICTを活用した学習指導と評価  
—小学校第4学年「どないしょん? ごみ処理」を事例に—
- |  |             |       |
|--|-------------|-------|
|  | 鳴門教育大学      | 井上 奈穂 |
|  | 鳴門教育大学附属小学校 | 生杉 真美 |
- (16) 小学校第5学年社会科教科書の産業分野における情報技術に関わる学習内容の傾向
- |  |        |       |
|--|--------|-------|
|  | 東北学院大学 | 佐藤 正寿 |
|--|--------|-------|
- (17) 尼崎市における地域学習の現状と課題  
—地域学習の実態調査を通して—
- |  |           |       |
|--|-----------|-------|
|  | 兵庫教育大学大学院 | 友居 秀行 |
|--|-----------|-------|
- (18) 伝統や文化の保護・継承をテーマとする小学校主権者教育プログラムの開発研究
- |  |         |       |
|--|---------|-------|
|  | 岡山大学大学院 | 山田 風紗 |
|--|---------|-------|
- (19) 日本の都市形成に着目した小学校社会科授業開発研究  
—第6学年単元「武士の世の中～鎌倉幕府～」の場合—
- |  |             |       |
|--|-------------|-------|
|  | 兵庫教育大学附属小学校 | 末永 琢也 |
|--|-------------|-------|
- (20) 初等歴史教育入門期から見たカリキュラム  
—第3学年「伊丹市のうつりかわり」を事例として—
- |  |           |       |
|--|-----------|-------|
|  | 伊丹市立摂陽小学校 | 小野 太郎 |
|--|-----------|-------|
- (21) 危機対応マネジメント育成に関わる社会科授業のインストラクショナルデザイン  
—知識構築型ウェビング法で創る授業—
- |  |        |      |
|--|--------|------|
|  | 兵庫教育大学 | 關 浩和 |
|--|--------|------|

## 【第2分科会】中等地理教育

- (1) デザイン思考を組み込んだPBL的単元構成により社会形成力を育成する授業実践  
—中学校地理的分野「地域の在り方：泉北ニュータウン少子高齢化問題」—  
堺市立宮山台中学校・兵庫教育大学大学院 畠中 悠輔
- (2) 社会系教科と総合的な学習（探究）の時間のあり方に関する検討  
—中学校地理的分野「日本の諸地域」の学習内容を中心として—  
武庫川女子大学 本多 千明
- (3) 地理的分野における対立と合意を視野に入れた中学校社会科授業開発  
兵庫教育大学大学院 土方 麻由
- (4) 子どもと教師によるカリキュラムの共創がもたらすパラドックス  
—地理教育の市民性教育化の可能性と原理的課題—  
広島大学大学院 宅島 大亮
- (5) 景観写真の読み取りにおける景観要素の抽出について  
—J. J. ギブソンの情報ピックアップ理論と組写真を利用して—  
兵庫県立柏原高等学校・兵庫教育大学大学院 久保 哲成
- (6) 今、中学校社会科に何ができるのか  
—中高連携、地歴融合を目指した世界遺産教育—  
神戸大学附属中等教育学校 辻 常路
- (7) 社会科における「授業ネタ（ネタ）」研究の特徴  
—システムティックレビューによる検討—  
兵庫教育大学大学院 天野 海輝

## 【第3分科会】中等歴史教育

- (1) 主体的に時代を読み解く力の育成を目指す歴史授業の研究  
—芥川龍之介の見た時代をカリマネする—  
岐阜大学教育学部附属小中学校 岸 周吾
- (2) 歴史総合の概念を意識した日本史授業と単元のあり方について  
—単元「『デモクラシー』について考える」を中心に—  
東京都立江戸川高等学校 須郷 一史
- (3) 満蒙開拓青少年義勇軍をどう教えるか  
—義勇軍体験を取り上げた小中学校社会科授業づくり—  
奈良教育大学 太田 満  
奈良教育大学附属中学校 吉田 寛  
奈良教育大学附属中学校 中村 基一
- (4) 帝国日本の植民地法制と三一独立運動  
—日韓の歴史教科書の「三一独立運動」の記述内容の分析を中心にして—  
兵庫教育大学 福田 喜彦

- (5) 歴史的な見方・考え方を働かせる授業開発  
—歴史教科書の比較研究を通して—  
中野区立明和中学校 金子 遥
- (6) 歴史教育における探究学習の再検討  
玉川大学 宮本 英征
- (7) 共通の歴史的事実に対する日中の大学生の認識の違いとその克服  
—日中関係史を題材として—  
岡山大学大学院 LIU XU
- (8) 批判的な史資料読解による歴史的な見方・考え方を育成する授業のあり方  
—歴史総合への接続を見据えた中学校歴史的分野の授業モデル開発—  
三次市立三良坂中学校 中村 友香  
広島大学附属中・高等学校 阿部 哲久  
広島大学附属中・高等学校 粟谷 好子  
広島大学大学院 小野 創太  
広島大学大学院 河原 洸亮
- (9) 高等学校「歴史総合」における未来洞察型教育理論に基づく授業実践  
—「グローバル化」における域内経済システムに着目して—  
兵庫教育大学大学院 岩橋 嘉大
- (10) 高等学校新設科目「歴史総合」に向けた協働的な授業づくりの研究  
—多様な立場の教員からなるオンライン型自主的研究組織の活動をとおして—  
兵庫県立明石高等学校 岩橋 嘉大  
兵庫県立有馬高等学校 杉山 正人  
兵庫県立播磨南高等学校 妙見健太郎
- (11) 地政学的な見方・考え方を働かせ多面的な解釈形成を目指す歴史学習  
—中学校社会科歴史的分野「日清・日露戦争」の場合—  
射水市立大門中学校 龍瀧 治宏
- (12) 手続的概念のラーニング・プログレッション・モデルを活用した小中一貫歴史学習の評価基準  
—イングランドCHATAプロジェクトで開発されたhistorical account概念を参考に—  
広島大学大学院 玉井 慎也

#### 【第4分科会】中等公民教育

- (1) 「共生」のための社会問題学習の試み  
—「子どもの貧困」学習を事例として—  
和歌山大学 岩野 清美
- (2) 子ども同士の公平な議論の成立を目指した社会科単元構成原理  
—南部貧困法センター「Teaching Tolerance」プロジェクトを手掛かりに—  
広島大学大学院 田中 峻斗



- (3) 民主主義の実践が問い直す社会科評価の方法  
 ー子どもたちからの異議申し立ては教師にどのような「問題」をもたらしたのかー  
 宮崎大学教育学部附属中学校 鬼塚 拓  
 宮崎大学 藤本 将人
- (4) 法的論争問題学習における「聞く生徒」を育てるための教授方略  
 ーとある中学校教師のリヴォイシング行為を中心にー  
 東京学芸大学 渡部 竜也  
 東京学芸大学大学院 白井 太一
- (5) 社会科におけるツールミンモデル活用の実態とその功罪  
 ー法理学アプローチの授業開発に向けて私たちは何を学ぶべきなのかー  
 東京学芸大学 渡部 竜也
- (6) 学習者に社会とのつながりを捉えさせる単元調整の方法  
 ー単元「財政」の実践を通じた教師の振り返りに着目してー  
 大阪教育大学大学院 八尋 慧
- (7) 障害問題の批判的検討を行う高校公民科単元開発・改善研究  
 ー多様な「平等」観を視点としてー  
 広島大学大学院 久保 美奈
- (8) 見えない力を読み解く「公共」の授業構想  
 ーコロナ禍の人工呼吸器トリアージを手がかりとしてー  
 京都女子大学 石原 純
- (9) 社会科における論理的思考力の育成について  
 宮崎大学 吉村功太郎  
 宮崎市立宮崎西中学校 川越 祐一
- (10) 自由貿易論と保護貿易論（経済安全保障論）との論争問題として考える社会系教科の授業開発  
 ー半導体不足問題を事例としてー  
 西九州大学 松井 克行
- (11) 社会科教師はどのように多様な科目をカリキュラムデザインするか  
 ー公民科「倫理」の教材研究・ゲートキーピング・省察を事例にー  
 独立研究者 奥村 尚  
 広島大学大学院 小野 創太
- (12) 意思決定学習における四象限モデルの効果に関する研究  
 ー高等学校公民科の国際単元の開発を通してー  
 岡山大学大学院 周 星星
- (13) 中学校社会科における意見形成の基礎支援  
 ー生徒の思考を引き出すワークシートづくりをもとにー  
 鳴門教育大学大学院 井本 祥太
- (14) 建設的論争のための社会科議論学習の方法  
 ーW. パーカーの「構造化された学問的な論争」(SAC) を手がかりにー  
 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 植原 督詞  
 茨城県立並木中等教育学校 後藤慎太郎

## 【第5分科会】教師教育等

(1) 経験の浅い教師はどのように自身の社会科観と正対するのか

—小学校3年単元「スーパーマーケットで働く人々」の授業改善をめぐるセルフスタディー—  
 尼崎市立園和小学校 川向 雄大  
 豊島区立富士見台小学校 片山 元裕

(2) 新任教師は養成段階までに形成した歴史授業観をどのように実践化していったか

—日本史教師3名を事例にした困難と克服の過程—  
 広島大学大学院 今井 祐介  
 広島大学大学院 村田 一郎

(3) 教師の授業観を相対化する社会科授業研究

大分県立大分上野丘高等学校・広島大学大学院 河野 大樹

(4) 社会系教科教育におけるファシリテーションの可能性

—主権者教育の実現も見据えて—  
 名古屋市立大学大学院 斉藤 雄次

(5) 社会科教師の社会的責任とは何か？

—米国の社会科教師スタンダードの検討を通して—  
 広島大学 川口 広美  
 埼玉学園大学 堀田 諭

(6) 地理歴史科・公民科教師はどの論争問題をいかに扱おうとしているか

—全国の国公立高校への質問紙調査を踏まえて—  
 広島大学 川口 広美  
 独立研究者 奥村 尚  
 広島大学大学院 小野 創太  
 広島大学大学院 田中 峻斗  
 広島大学大学院 玉井 慎也  
 広島大学大学院 野瀬 輝

(7) アジアにおける社会系教科教育に求められる新たな市民性育成教育の調査研究1

—調査の概要・日本の傾向—  
 大阪教育大学 峯 明秀  
 龍谷大学 中本 和彦  
 四天王寺大学 西口 卓磨  
 豊島区立富士見台小学校 片山 元裕  
 ソウル教育大学 Nam Ho Yeop  
 延世大学学校教育研究所 Cha Boeun  
 ミョンウォン初等学校 Cho Hyungi  
 スラバヤ大学 Nasution

(8) アジアにおける社会系教科教育に求められる新たな市民性育成教育の調査研究2  
—韓国・インドネシアとの比較—

龍谷大学	中本 和彦
ソウル教育大学	Nam Ho Yeop
延世大学校教育研究所	Cha Boeun
ミョンウォン初等学校	Cho Hyungi
スラバヤ大学	Nasution
大阪教育大学	峯 明秀
四天王寺大学	西口 卓磨
豊島区立富士見台小学校	片山 元裕

(9) 「実現可能性に疑問があつて、実際に現場に立ってやれるのか」  
—葛藤に着目した教職大学院生の歴史教育観の再構築過程—

東京学芸大学大学院	白井 太一
東京都立羽村高等学校	中島 龍平
八雲学園中学校・高等学校	杉崎 公祐

(10) 日韓社会科授業研究の新展開  
—オンラインを活用した相互交流を中心にして—

鳴門教育大学	井上 奈穂
光州教育大学	李 貞姫
大邱大学	朴 南洙
東北学院大学	坪田 益美
日本体育大学	池野 範男

(11) 米国ハワイ州の教師たちは市民性の育成をどのように捉えているのか

鹿児島大学	福井 駿
東海大学	斉藤仁一朗
国立教育政策研究所	空 健太

(12) 成立期社会科における「公衆衛生」の取り扱いの特質

新潟大学	釜本 健司
------	-------